

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の 使用推進について

厚生労働省の後発医薬品使用促進の方針に従って、当院でも後発医薬品の使用を積極的に取り組んでいます。

後発医薬品の採用に当たっては、品質確保・安全性に関する十分な情報提供・安定供給等、当院の定める条件を満たし、有効かつ安全な製品を採用しております。

また現在全国的に感染症の蔓延や医薬品メーカーの不備等により医薬品供給が低下しております。当院採用薬品が安定供給されない場合は、適応等を慎重に検討し処方内容を変更させていただきます。

処方内容に変更が生じる場合にはご説明させていただきます。

後発医薬品への変更について、ご理解ご協力をお願い致します。



令和7年4月1日
医療法人カタクリ会
よしか病院 病院長

当院では、後発医薬品の使用に積極的に取り組んでいます。

よしか病院は 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の 使用に積極的に取り組んでいます

後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは、
先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に販売される、
先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ
医薬品のことです。



ポイント1

先発医薬品より安価で、
経済的です。

- 患者さんの自己負担の軽減、医療保険財政の改善につながります。

※価格は品目ごとに様々ですが、先発医薬品の半額以下の薬もあります。



ポイント2

効き目や安全性は、
先発医薬品と同等です。

- 国では、後発医薬品が先発医薬品と同レベルの品質・有効性・安全性を有するかどうかについて欧米と同様の基準で審査を行っています。

※薬の形、色や味は、先発医薬品と異なる場合があります。

ポイント3

欧米では、
幅広く使用されています。

- アメリカ、イギリス、ドイツなどでは、使用されている医療用医薬品の約半分が後発医薬品。
- 日本の後発医薬品のシェアは、2割に満たないのが現状です。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）を
希望される場合は医師・薬剤師に
ご相談ください。

医薬品の供給状況によって投与する薬剤が変更される可能性があります。

薬剤が変更される場合は、わかりやすくご説明致しますので
ご安心ください。